

扶養の申立書【被扶養者の要件確認用】

令和〇〇年〇〇月〇〇日

文部科学省共済組合広島大学支部長 殿

被扶養者を下記のとおり引き続き扶養しなければならないことを申立てます。

なお、今後、130万円以上の収入見込みとなった場合は速やかに届け出ることを申し添えます。

また、結果的に12ヵ月間の収入が130万円以上となった場合は速やかに届け出るとともに、最初に3ヶ月平均が108,334円以上となり、その中で最初に月額108,334円以上となった月の給与支給対象期間の初日から扶養取消されることに同意します。

※被扶養者が障害年金受給者又は60歳以上の場合、12ヵ月間の収入は180万円以上、3ヶ月平均は150,000円以上。

組合員氏名 広大 太郎

(氏名は必ず自署)

被扶養者氏名	被扶養者の生年月日	年齢	性別	組合員との続柄
広大 花子	昭和 平成 令和 〇〇年〇月〇日	48歳	男・女	妻

【引き続き扶養しなければならない理由及びその他参考となる事項】 状況を具体的に記入してください。
現在、パートで働いているが収入が少ないため、引き続き扶養しなければならない。

【過去1年間の収入状況】

1. 収入の有無 (有・無のどちらかを○で囲んでください)

過去1年間の収入 有 ・ 無

2. 収入の種類 (1.の収入有を○で囲んだ方は該当する収入の種類を○で囲み、以下に状況を記入してください)

①給与収入(パート・アルバイト等)

パート・アルバイト等勤務先名	収入額(平均月額)	退職年月日(退職している場合は記入)
〇〇〇〇株式会社	50,000円	令和〇年〇月〇〇日
〇〇〇〇株式会社	20,000円	
	円	

②年金収入、恩給、扶助料 ※年金収入には遺族年金、障害年金や企業年金、個人年金
年額 円(年金が複数ある場合は合計額)

③事業収入、不動産収入、雑収入、株譲渡収入、配当金収入等

収入の種類	収入額(年額)
	円
	円

④雇用保険失業手当 日額 円

⑤上記①～④に該当しない収入

(収入の名称:) 収入額(月額) 円

【扶養義務者の状況】 有・無のどちらかを○で囲み、有の場合は必ず「組合員の年間収入額」と「扶養義務者の状況」を記入してください。

・有(下記のとおり) → 組合員の年間収入額(円)

無

※扶養義務者とは、配偶者、父母、兄弟姉妹等を言います。ただし、被扶養者申告書に記載のある者は除きます。

※被扶養者が子どもで配偶者がいない場合[その他参考となる事項]欄にその状況を記載してください。

氏名	年齢	被扶養者との続柄	職業	年収	被扶養者と同居・別居の別
				円	同居・別居
				円	同居・別居
				円	同居・別居

扶養の申立書【被扶養者の要件確認用】

令和〇〇年〇〇月〇〇日

文部科学省共済組合広島大学支部長 殿

被扶養者を下記のとおり引き続き扶養しなければならないことを申立てます。

なお、今後、130万円以上の収入見込みとなった場合は速やかに届け出ることを申し添えます。

また、結果的に12ヵ月間の収入が130万円以上となった場合は速やかに届け出るとともに、最初に3ヶ月平均が108,334円以上となり、その中で最初に月額108,334円以上となった月の給与支給対象期間の初日から扶養取消されることに同意します。

※被扶養者が障害年金受給者又は60歳以上の場合、12ヵ月間の収入は180万円以上、3ヶ月平均は150,000円以上。

組合員氏名 広大 太郎

(氏名は必ず自署)

被扶養者氏名	被扶養者の生年月日	年齢	性別	組合員との続柄
広大 次郎	昭和 平成 令和 〇〇年〇月〇日	24歳	男・女	長男

【引き続き扶養しなければならない理由及びその他参考となる事項】 状況を具体的に記入してください。
例)令和〇年〇月〇日に退職し、就職活動中であるが現在なかなか仕事が見つからない状況である。別居しているの
で、私が月々10万円送金して生計を維持している。妻より私の収入が多いので、主として扶養している。

※未就学で無職の場合は現況を詳しく記入してください。

「無職・無収入のため」とだけ記入された場合は、追加で説明を求めます。

子の場合、送金確認書類は求めませんが、生計維持の状況を詳しく記入してください。

【過去1年間の収入状況】

1. 収入の有無 (有・無のどちらかを○で囲んでください)

過去1年間の収入 有 ・ 無

2. 収入の種類 (1.の収入有を○で囲んだ方は該当する収入の種類を○で囲み、以下に状況を記入してください)

①給与収入(パート・アルバイト等)

パート・アルバイト等勤務先名	収入額(平均月額)	退職年月日(退職している場合は記入)
	円	
	円	
	円	

②年金収入、恩給、扶助料 ※年金収入には遺族年金、障害年金や企業年金、個人年金も含まれます。

年額 円 (年金が複数ある場合は合計額)

③事業収入、不動産収入、雑収入、株譲渡収入、配当金収入等

収入の種類	収入額(年額)
	円
	円

④雇用保険失業手当 日額 円

⑤上記①～④に該当しない収入

(収入の名称:) 収入額(月額) 円

【扶養義務者の状況】 有・無のどちらかを○で囲み、有の場合は必ず「組合員の年間収入額」と「扶養義務者の状況」を記入してください。

・(有)下記のとおり) → 組合員の年間収入額(5,000,000円)

・無

※扶養義務者とは、配偶者、父母、兄弟姉妹等を言います。ただし、被扶養者申告書に記載のある者は除きます。

※被扶養者が子どもで配偶者がいない場合【その他参考となる事項】欄にその状況を記載してください。

氏名	年齢	被扶養者との続柄	職業	年収	被扶養者との同居・別居の別
広大 花子	48	母	〇〇〇〇	2,000,000円	同居・別居
				円	同居・別居
				円	同居・別居

配偶者が組合員の扶養認定されていない場合は記入してください。

【記入例】大学院生でアルバイト収入がある子を引き続き扶養する場合

扶養の申立書【被扶養者の要件確認用】

令和〇〇年〇〇月〇〇日

文部科学省共済組合広島大学支部長 殿

被扶養者を下記のとおり引き続き扶養しなければならないことを申立てます。
なお、今後、130万円以上の収入見込みとなった場合は速やかに届け出ることを申し添えます。
また、結果的に12ヵ月間の収入が130万円以上となった場合は速やかに届け出るとともに、最初に3ヶ月平均が108,334円以上となり、その中で最初に月額108,334円以上となった月の給与支給対象期間の初日から扶養取消されることに同意します。

※被扶養者が障害年金受給者又は60歳以上の場合、12ヵ月間の収入は180万円以上、3ヶ月平均は150,000円以上。

組合員氏名 広大 太郎

(氏名は必ず自署)

被扶養者氏名	被扶養者の生年月日	年齢	性別	組合員との続柄
広大 次郎	昭和 平成 令和 〇〇年〇月〇日	22歳	男・女	次男

【引き続き扶養しなければならない理由及びその他参考となる事項】 状況を具体的に記入してください。
例) 現在、大学院生でアルバイトはしているが、収入が少なく自活することができない。
妻より私の収入が多いので、主として扶養している。

【過去1年間の収入状況】

1. 収入の有無 (有・無のどちらかを○で囲んでください)
過去1年間の収入 有 ・ 無

2. 収入の種類 (1.の収入有を○で囲んだ方は該当する収入の種類を○で囲み、以下に状況を記入してください)

①給与収入 (パート・アルバイト等)

パート・アルバイト等勤務先名	収入額 (平均月額)	退職年月日 (退職している場合は記入)
〇〇〇〇株式会社	45,000円	
	円	
	円	

②年金収入、恩給、扶助料 ※年金収入には遺族年金、障害年金や企業年金、個人年金
年額 円 (年金が複数ある場合は合計額)

③事業収入、不動産収入、雑収入、株譲渡収入、配当金収入等

収入の種類	収入額 (年額)
	円
	円

④雇用保険失業手当 日額 円

⑤上記①～④に該当しない収入
(収入の名称:) 収入額 (月額) 円

過去1年間の平均月額を記入してください。

【扶養義務者の状況】 有・無のどちらかを○で囲み、有の場合は必ず「組合員の年間収入額」と「扶養義務者の状況」を記入してください。
 (有) (下記のとおり) → 組合員の年間収入額 (5,000,000円)
・ 無

※扶養義務者とは、配偶者、父母、兄弟姉妹等を言います。ただし、被扶養者申告書に記載のある者は除きます。
※被扶養者が子どもで配偶者がいない場合[その他参考となる事項]欄にその状況を記載してください。

氏名	年齢	被扶養者との続柄	職業	年収	被扶養者と同居・別居の別
広大 花子	48	母	〇〇〇〇	2,000,000円	同居・別居
				円	同居・別居
				円	同居・別居

配偶者が組合員の扶養認定されていない場合は記入してください。

【記入例】別居の親を引き続き扶養する場合①

扶養の申立書【被扶養者の要件確認用】

令和〇〇年〇〇月〇〇日

文部科学省共済組合広島大学支部長 殿

被扶養者を下記のとおり引き続き扶養しなければならないことを申立てます。

なお、今後、130万円以上の収入見込みとなった場合は速やかに届け出ることを申し添えます。

また、結果的に12ヵ月間の収入が130万円以上となった場合は速やかに届け出るとともに、最初に3ヶ月平均が108,334円以上となり、その中で最初に月額108,334円以上となった月の給与支給対象期間の初日から扶養取消されることに同意します。

※送金額が送金額を含んだ父母（祖父母）の世帯収入の3分の1以上であることが認定の要件です。

組合員氏名 広大 太郎

(氏名は必ず自署)

被扶養者氏名	被扶養者の生年月日	年齢	性別	組合員との続柄
広大 花子	昭和 平成 令和 〇〇年〇月〇日	71歳	男・女	母

[引き続き扶養しなければならない理由及びその他参考となる事項] 状況を具体的に記入してください。

父、母ともに年金収入のみで収入が少ないため引き続き扶養する必要がある。

両親は田舎の田畑と家があるため、私と別居しているため、私が月々10万円送金して生計を維持している。

子は私の他に一人いるが、結婚し他県で生活している。パート勤務をしており、収入が少ないため、

私が両親の面倒を見る必要がある。

[過去1年間の収入状況]

1. 収入の有無 (有・無のどちらかを○で囲んでください)

過去1年間の収入 有・無

2. 収入の種類 (1.の収入有を○で囲んだ方は該当する収入の種類)

①給与収入 (パート・アルバイト等)

パート・アルバイト等勤務先名	収入額 (平均月額)	退職年月日 (退職している場合は記入)
	円	
	円	
	円	

②年金収入、恩給、扶助料 ※年金収入には遺族年金、障害年金や企業年金、個人年金も含まれます。

年額 700,000円 (年金が複数ある場合は合計額)

③事業収入、不動産収入、雑収入、株譲渡収入、配当金収入等

収入の種類	収入額 (年額)
	円
	円

④雇用保険失業手当 日額 円

⑤上記①～④に該当しない収入

(収入の名称:) 収入額 (月額) 円

[扶養義務者の状況] 有・無のどちらかを○で囲み、有の場合は必ず「組合員の年間収入額」と

有(下記のとおり) → 組合員の年間収入額 (5,000,000円)

・無

※扶養義務者とは、配偶者、父母、兄弟姉妹等を言います。ただし、被扶養者申告書に記載のある者は除きます。

※被扶養者が子どもで配偶者がいない場合[その他参考となる事項]欄にその状況を記載してください。

※他の扶養義務者の現況についても、詳しく記入してください。
※他の扶養義務者が被扶養者と同居の場合、収入額がわかるものを提出いただきます。

両親の片方しか共済組合で扶養認定されていない場合は、もう一方の親について記入してください。

氏名	年齢	被扶養者との続柄	職業	年収	被扶養者と同居・別居の別
〇〇 〇〇	50	長女	〇〇〇〇	200万円	同居・別居
〇〇 〇〇	75	夫	〇〇〇〇	200万円	同居・別居
				円	同居・別居

扶養の申立書【被扶養者の要件確認用】

令和〇〇年〇〇月〇〇日

文部科学省共済組合広島大学支部長 殿

被扶養者を下記のとおり引き続き扶養しなければならないことを申立てます。

なお、今後、130万円以上の収入見込みとなった場合は速やかに届け出ることを申し添えます。

また、結果的に12ヵ月間の収入が130万円以上となった場合は速やかに届け出るとともに、最初に3ヶ月平均が108,334円以上となり、その中で最初に月額108,334円以上となった月の給与支給対象期間の初日から扶養取消されることに同意します。

※送金額が送金額を含んだ父母（祖父母）の世帯収入の3分の1以上であることが認定の要件です。

組合員氏名 広大 太郎

(氏名は必ず自署)

被扶養者氏名	被扶養者の生年月日	年齢	性別	組合員との続柄
広大 花子	昭和 平成 令和 〇〇年〇月〇日	71歳	男・女	母
[引き続き扶養しなければならない理由及びその他参考となる事項] 状況を具体的に記入してください。 母は年金収入のみで、父は平成〇〇年〇月〇日に亡くなっており、収入が少ないため引き続き扶養する必要がある。田舎の田畑と家があり、一緒に住むことができないので、私が月々10万円送金して生計を維持している。また、私以外に子供はいない。				
[過去1年間の収入状況]				
1. 収入の有無 (有・無のどちらかを○で囲む) 過去1年間の収入 有・無				
2. 収入の種類 (1.の収入有を○で囲んだ方は該当)				
①給与収入 (パート・アルバイト等)				
パート・アルバイト等勤務先名		円		
		円		
		円		
②年金収入、恩給、扶助料 ※年金収入には遺族年金、障害年金や企業年金、個人年金も含まれます。 年額 700,000円 (年金が複数ある場合は合計額)				
③事業収入、不動産収入、雑収入、株譲渡収入、配当金収入等				
収入の種類	収入額 (年額)			
		円		
		円		
④雇用保険失業手当 日額 円				
⑤上記①～④に該当しない収入 (収入の名称:) 収入額 (月額) 円				
[扶養義務者の状況] 有・無のどちらかを○で囲み、有の場合は必ず「組合員の年間収入額」と「扶養義務者の状況」を記入してください。				
・ 有(下記のとおり) → 組合員の年間収入額(円)				
・ 無				
※扶養義務者とは、配偶者、父母、兄弟姉妹等を言います。ただし、被扶養者申告書に記載のある者は除きます。				
※被扶養者が子どもで配偶者がいない場合[その他参考となる事項]欄にその状況を記載してください。				
氏名	年齢	被扶養者との続柄	職業	年収
				円
				円
				円

扶養の申立書【被扶養者の要件確認用】

令和〇〇年〇〇月〇〇日

文部科学省共済組合広島大学支部長 殿

被扶養者を下記のとおり引き続き扶養しなければならないことを申立てます。

なお、今後、130万円以上の収入見込みとなった場合は速やかに届け出ることを申し添えます。

また、結果的に12ヵ月間の収入が130万円以上となった場合は速やかに届け出るとともに、最初に3ヶ月平均が108,334円以上となり、その中で最初に月額108,334円以上となった月の給与支給対象期間の初日から扶養取消されることに同意します。

※被扶養者が障害年金受給者又は60歳以上の場合、12ヵ月間の収入は180万円以上、3ヶ月平均は150,000円以上。

組合員氏名 広大 太郎

(氏名は必ず自署)

被扶養者氏名	被扶養者の生年月日	年齢	性別	組合員との続柄
広大 花子	昭和 平成 令和 〇〇年〇月〇日	28歳	男・女	妹

[引き続き扶養しなければならない理由及びその他参考となる事項] 状況を具体的に記入してください。

妹は現在、国家資格取得のため勉学に専念しており、無職・無収入であるので、私が引き続き扶養しなければならない。両親も年金収入のみで私が扶養している。また、私以外に兄弟はいない。なお、生計維持のため、私が月々10万円送金している。

[過去1年間の収入状況]

1. 収入の有無 (有・無のどちらかを○で囲んでください)

過去1年間の収入 有 ・ 無

2. 収入の種類 (1.の収入有を○で囲んだ方は該当する収入の種類)

①給与収入 (パート・アルバイト等)

パート・アルバイト等勤務先名	収入額 (平均月額)	退職年月日 (退職している場合は記入)
	円	
	円	
	円	

②年金収入、恩給、扶助料 ※年金収入には遺族年金、障害年金や企業年金、個人年金も含まれます。

年額 円 (年金が複数ある場合は合計額)

③事業収入、不動産収入、雑収入、株譲渡収入、配当金収入等

収入の種類	収入額 (年額)
	円

④雇用保険失業手当

日額

⑤上記①～④に該当しない収入

(収入の名称:)

収入額 (月額))

※他の扶養義務者がいる場合は、扶養義務者の現況についても、詳しく記入してください。
※他の扶養義務者が被扶養者と同居の場合、収入額がわかるものを提出いただきます。

組合員以外にも兄弟がいる場合は記入。
また、親が組合員の扶養認定されていない場合は親も記入。

[扶養義務者の状況] 有・無のどちらかを○で囲み、有の場合は必ず「組合員の年間収入額」と「扶養義務者の状況」を記入してください。

・ 有(下記のとおり) → 組合員の年間収入額(円)

・ 無

※扶養義務者とは、配偶者、父母、兄弟姉妹等を言います。ただし、被扶養者申告書に記載のある者は除きます。

※被扶養者が子どもで配偶者がいない場合[その他参考となる事項]欄にその状況を記載してください。

氏名	年齢	被扶養者との続柄	職業	年収	被扶養者との同居・別居の別
					同居・別居
				円	同居・別居
				円	同居・別居

扶養の申立書【被扶養者の要件確認用】

令和〇〇年〇〇月〇〇日

文部科学省共済組合広島大学支部長 殿

被扶養者を下記のとおり引き続き扶養しなければならないことを申立てます。

なお、今後、130万円以上の収入見込みとなった場合は速やかに届け出ることを申し添えます。

また、結果的に12ヵ月間の収入が130万円以上となった場合は速やかに届け出るとともに、最初に3ヶ月平均が108,334円以上となり、その中で最初に月額108,334円以上となった月の給与支給対象期間の初日から扶養取消されることに同意します。

※被扶養者が障害年金受給者又は60歳以上の場合、12ヵ月間の収入は180万円以上、3ヶ月平均は150,000円以上。

組合員氏名 広大 太郎

(氏名は必ず自署)

被扶養者氏名	被扶養者の生年月日	年齢	性別	組合員との続柄	
広大 花子	昭和 平成 令和 〇〇年〇月〇日	68歳	男・女	義母	
[引き続き扶養しなければならない理由及びその他参考となる事項] 状況を具体的に記入してください。 平成〇〇年〇月〇日から同居している。 義父はすでに亡くなっており、収入は年金のみである。 子は妻の他に一人いるが、他県で生活しており、家族を養うだけで精一杯で送金する余裕がないため、私が義母の面倒を見る必要がある。					
[過去1年間の収入状況]					
1. 収入の有無 (有・無のどちらかを○で囲んでください) 過去1年間の収入 有 ・ 無					
2. 収入の種類 (1.の収入有を○で囲んだ方は該当する収入の種類を○で囲み、以下に状況を記入してください)					
①給与収入 (パート・アルバイト等)					
パート・アルバイト等勤務先名	収入額 (平均月額)	退職年月日 (退職している場合は記入)			
	円				
	円				
	円				
②年金収入、恩給、扶助料 ※年金収入には遺族年金、障害年金や企業年金、個人年金も含まれます。 年額 1,300,000 円 (年金が複数ある場合は合計額)					
③事業収入、不動産収入、雑収入、株譲渡収入、配当金収入等					
収入の種類	収入額 (年額)				
	円				
④雇用保険失業手当 日額 _____					
⑤上記①～④に該当しない収入 (収入の名称: _____) 収入額 (月額) _____ 円					
[扶養義務者の状況] 有・無のどちらかを○で囲み、有の場合は必ず「組合員の年間収入額」と「扶養義務者の状況」を記入してください。 ・ 有(下記のとおり) → 組合員の年間収入額(_____ 円) ・ 無 ※扶養義務者とは、配偶者、父母、兄弟姉妹等を言います。ただし、被扶養者申告書に記載のある者は除きます。 ※被扶養者が子どもで配偶者がいない場合[その他参考となる事項]欄にその状況を記載してください。					
氏名	年齢	被扶養者との続柄	職業	年収	被扶養者と同居・別居の別
〇〇 〇〇	40	長男	会社員	400万 円	同居・別居
				円	同居・別居
				円	同居・別居